

令和6年 9月 4日

眼科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「眼内レンズ強膜内固定術についての検討」へのご協力のお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：

2010年04月1日～2024年7月31日の間に眼内レンズ強膜内固定術を受け、
た全患者を対象としています。

研究期間：

倫理審査委員会許可日～2026年12月31日

研究目的・方法：

背景疾患や外傷などの影響で眼内レンズや水晶体が偏位し、眼内に落下することがあり、手術加療を要します。この10年で手術対象眼が増加し続けていますが、その背景因子は十分には研究されていないため、なぜ増加しているのか不明です。また、以前は、このような症例には眼内レンズ縫着術を施行していましたが、現在は2014年に発表された新しい術式である強膜内固定という30Gの細い針を用いて直接眼内レンズを強膜内に貫通させる術式を行っています。比較的新しい術式であり、術後合併症や、長期予後についての臨床研究は十分ではなく、また術式も施設間で細かく差があり、改良の余地があります。そのため眼内レンズ強膜内固定術を施行された患者の背景因子の検討、術中・術後合併症、術後視機能を後方視的に評価し、今後の更なる術式の改良や、より安定した治療成績に繋げることが本研究の目的です。

研究に用いる情報の種類：

すでにカルテに記載済みの患者さんのデータを収集・抽出し、解析します。新たに試料採取や検査を追加することはありません。調査内容の記載漏れあるいは誤記載等の確認ならびに統計的考察を行います。

データの詳細としては、年齢、性別、既往歴、投薬歴、手術日、術眼（左右）、観察期間、裸眼矯正視力、コントラスト感度、屈折値、眼圧、光干渉断層計、角膜内皮細胞密度、眼軸長、前眼部OCT、細隙灯顕微鏡検査所見、眼底所見、視野検査、レーザーフレアセルメーター、MP3の結果、術中術後合併症の有無を記録します。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024年9月4日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して、患者さんに新たに行って頂く事項はなく費用はかかりません。本研究に関する質問、あるいは情報が当該研究に用いられることについてご了承頂けない場合には研究対象と致しません。その場合はお手数をおかけしますが以下の連絡先までお申し出下さい。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんのでご安心下さい。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者および連絡先

岐阜大学医学部附属病院 眼科

氏名：窪田 匡臣

電話番号 058-230-6288

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp